

3月11日(月)

## 思いがけないほど謙虚に

聖書朗読 ネヘミヤ 1章

ああ、主よ。どうぞ、このしもべの祈りと、あなたの名を喜んで敬うあなたのしもべたちの祈りとに、耳を傾けてください。 ネヘミヤ 1:11

祈るときについて、ちょっと考えてみてください。私たちが祈るとき、私たちは神様が私たちの祈りを聞いてくださることを前提して祈ります。ですから、祈るときには、神様に私たちの祈りを聞いてくださいと頼むことからではなく、多分、「親愛なる神様」または「お父様」と言うような言葉によって祈りを始めます。

それが、ネヘミヤ記1章の中に書かれているネヘミヤの祈りが際立っている理由です。ネヘミヤは祈りを6節で始め、11節で神様に自分の祈りに耳を傾けてくださるように頼むことによって祈りを締めくくっています。このことは、神様がネヘミヤのような小さな生き物などへ耳を傾ける必要はないほどの偉大な力と権威をもつ方であるということを示し、ネヘミヤ自身が十分によく認識していることを表わしています。ネヘミヤはそれを承知の上で、それでも神様に自分の祈りに耳を傾けてくださいと、謙虚に頼んでいるのです。

ネヘミヤは、まるで神様が人間の祈りを聞く義務があるとか、ネヘミヤの祈りを聞くのが当然だというようにはふるまっていません。主の宮の状態とイスラエルの人々の困窮を大いに心配しながらも、ネヘミヤは、まだ神様と自分自身との間の深い裂け目を認識しています。ああ、困難の最中には、私たちも同じ態度をとれますように！

讃美歌 316

祈り 親愛なる主よ。この祈りに耳を傾けてください。あなたの恵みを通して、あなたに近づく時には、自分を謙虚にしなければならないことをやさしく気づかせてください。

イエス様の御名において祈ります。アーメン。

ブライアン・シモンズ

ワシントン州 バンクーバー

## 今日のカ

2013年3月11日～3月17日

翻訳 海澤弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

3月12日(火)

## 安全に運行するには

聖書朗読 エステル 5章

王は彼女に言った。「どうしたのだ。王妃エステル。何がほしいのか。王国の半分でも、あなたにやれるのだが。」  
エステル 5:3

もしあなたが、起伏の多い山道を旅するなら、山道の両側に油断のならない危険がひそんでいることがわかるでしょう。急カーブを曲がるためにハンドルを切れれば、反動で反対側の崖側へ体がゆさぶられてしまいます。しかし、崖側に注意を払いすぎると、内側の岩壁にぶつかりそうになってしまいます。危険をひとつ避けようとするれば、別の危険をつくってしまうのです。

エステルが置かれていたのはそんな状況でした。一方の側にある恐怖が、他方の側にある誘惑に彼女を脱線させるかもしれませんでした。そして、どちらに落ちたとしても、彼女の民族にとって深刻な結果をもたらすことになるのでした。それで、王とハマンを最初の宴会に招くことを王に願い出るとき、そして彼らをもう一度、二度目の宴会に招くまでの間、エステルはためらっていました。恐怖が彼女を覆っていました。彼女は王の怒り(王妃ワシュティを思い出しながら)を恐れ、そしてハマンの権力を恐れました。

最後に、恐怖と戦いながら、エステルは王のもとへ行き、彼女の民族のための救済を頼み、そうすることによって国を救いました。

私たちはどのように恐怖の壁と誘惑の崖の間を行き来するのでしょうか? エステルは彼女に課せられた仕事、彼女の民族にとっていかに重大か認識していました。そして私たちが信仰深く任務を覚えることによって、私たちもまた、安全に危険な山道のターンを行き来することができるのです。

聖歌 450

祈り 親愛なる神様。私たちが恐怖に直面したり、誘惑にかられたりするときには、私たちが勝利をおさめることができるようにしてください。私たちがあなたを愛し、あなたを信頼し、そしてあなたを讃え、名誉とします。

イエス様の御名において。アーメン。

ナタン・シャンク

ケンタッキー州 レキシントン

3月13日(水)

## あなたの手を握っているのは誰?

聖書朗読 ヨブ 17:1~16

義人は自分の道を保ち、手のきよい人は力を増し加える。 ヨブ 17:9

とても親しい友人同士なら、手をつないで歩いたりするでしょう。そしてもしも二人がデートをしている男性と女性であれば、なおさらです。妻と私は結婚して57年になりますが、今でもそうしています。親密にふれあっているということはすばらしいことです。ヨブ記の中で、私たちはヨブが神様と持っていた親密な関係について読み取ります。しかしヨブは不幸の中で、それを失いかけています。ヨブはもうその親密な関係がなくなってしまったかのように、神様になぜ自分を見捨てたのかと問いました。ヨブは神様が自分から去るようなことは何もしていないと、自分の心の中では知っていました。

ヨブの友達も皆、ヨブの苦難の理由について、彼に咎があると責め始めました。彼らはヨブが何か正しくないことをしたに違いないと言い立てました。しかしながらヨブは、神様が彼から離れるような理由は何も知らないと主張しました。ヨブは神様に抗弁するために、一対一で向かい合ってくださいようとさえ頼みました。

イエス様の血によって、私たちは神様の王座の前に、私たちのために抗弁してくださる仲裁人を得ました。たとえ、私たちが直面する裁判や試練がなんであっても、その仲裁人は決して私たちを離れることはないでしょう。その方は私たちと一緒に歩いてくださいます。私たちの自信は神様の恵みの中にあるのです!

讃美歌 第二編 212

祈り 親愛なる神様。あなたの恵みが私を取り巻いています。あなたの平安が私の内にあります。あなたの愛は私の前にも後ろにもあります。私の望みと確信はあなたの中にあります。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ジョージ・V・モーテンセン

ワシントン州 カー克兰ド

3月14日(木)

## 神様をみつける

聖書朗読 ヨブ 23章

私はあなたの御霊から離れて、どこへ行けましょう。私はあなたの御前を離れて、どこへのがれましょう。  
詩篇 139:7

主はヨブを『潔白で正しく』、『神を恐れ悪から遠ざかっている』人であると描写しています(ヨブ 1:1)。しかし、ヨブ記 23章において、私たちはヨブの神様への抗議と不満をみます。ヨブは失望しおそらく憤っています。ヨブは、悪いことは善人には起こらないという間違った信念をもつ友人と話し合います。この正しい人は苦難につぐ苦難に苦しみ、なぜこんな目にあうのか、正しい理由を神に求めます。ヨブは主の御前に訴え自分の正当性を論じる機会を、神様に聞いて頂くことを欲しているのです。ヨブは、東に、西に、北に、南に、神様を求めています(ヨブ 23:5~8)。ヨブは、神様を間違った理由から求めています。

幸いなことに最終的には、神様はご自分の究極の主権についてヨブに説明し、そのことを理解したヨブを祝福されました。

神様はいつも存在します。私たちが神様を正しい理由から求める時にはいつも、神様を見つけることができます。私たちは詩篇のことばによって慰められ、力づけられているのです。

たとい、私が天に上っても、そこにあなたはおられ、  
私がよみに床を設けても、そこにあなたはおられます  
——詩篇 139:8

讚美歌 303

祈り 恵み深い神様。あなたの存在にずっと私たちが気づいているように助けてください。そして私たちがいつも正しい理由のためにあなたを求めるように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ウエイン・エステス

カリフォルニア州 サウザンドオーク

3月15日(金)

## 深い根

聖書朗読 詩篇 1編

愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、・・・ エペソ 3:17

この春の間、私たちの庭の灌木にはたくさんの種ができました。種は木から落ちると、敷石の割れ目、フェンスと地面の隙間、そして花壇などに根をはります。それがまだ小さいときなら、雨が降った後で簡単に引き抜くことができます。

しかしながら、私が毎年いくら多くの芽を引き抜いても、次の春には新しいのが芽生えるのです。本当に問題なのは、もし私がその芽生えを見過ごしてしまうと、その芽は根を深く張ってしまい引き抜くことができなくなってしまうことです。花壇の花々の間に根を張ってしまった木に薬を散布することもできず、その木は年々育っていつてしまいます。

聖書は私たちの心を繁殖力のある地にたとえています。私の庭の木から落ちた望ましくない種のように、多くの望ましくないこと、貪欲、妬み、敵意といったいろんなことが私たちの心に根をはります。もしもそれらをそのままにしておけば、引き抜いて根絶することはとても困難になるかもしれません。

パウロは心の土の弱さについて知っていました。パウロは、心の土を肥沃に、そして植え付けのために準備をするようにとたとえ話によって説いています。もし私たちの心が、神様のすばらしい愛で満たされるなら、パウロが言うように、罪は根を張ることができないのです。

聖歌 266

祈り 主よ。私たちの心があなたのすばらしい愛ですっかり満たされますように。そうすれば悪が育つ隙間はなくなります。

イエス様の御名において祈ります。アーメン。

マデリン・ペーターソン

ネブラスカ州 ヘイスティングス

3月16日(土)

## 私たちの心の歌

聖書朗読 詩篇 9:1~14

キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住ませ・・・詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。コロサイ 3:16

オクラホマ州エドモンドからの春の伝道チームがメキシコの国境にさしかかり、入国審査のため止められました。審査官がどこで何をするつもりかと尋ねました。チームリーダーが子どもたちにイエス様について教えに行きますと説明しました。すると審査官は尋ねました。「スペイン語は話せますか？ 話せない？ ではどうやって教えるのですか？」。リーダーは答えました。「私たちはスペイン語で歌うことができます」。「では歌ってみてください！」と審査官が言いました。そしてチームが歌っている間、審査官は他の入国者たちを待たせていました。

主をほめたたえる。主は音楽を個人の礼拝、そして団体での礼拝での一部とされました。ダビデは詩篇 34 編に、『私はあらゆる時に主をほめたたえる。私の口には、いつも、主への賛美がある。』と書いています。ヤコブは私たちに『喜んでいる人がいますか。その人は賛美しなさい。』と言っています(ヤコブ 5:13)。パウロがそれに『主に向かって心から歌い、また賛美しなさい。』と付け加えています(エペソ 5:19)。

聖書のメッセージを歌によって心から賛美することは、私たちの魂にとって良い薬となります。私の心には歌があります。あなたはどうか？

聖歌 384

祈り 親愛なるお父様、私たちのすべてが賛美の歌を高らかに歌えるほどの喜びそして感謝に満たされるように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

グローバー・シップ  
テキサス州 オースティン

3月17日(日)

## 神の知らせを聞きなさい！

聖書朗読 詩篇 10:1~12

主よ。立ち上がってください。神よ。御手を上げてください。どうか、貧しい者を、忘れないでください。詩篇 10:12

演説者の怒りが、群集を暴徒へと扇動しています。傍観者たちの家々は破壊され、人々は傷つき、死体となって残されています。墮落した役人が、自分の親族のために公金をつぎ込んでいます。ある子どもは、両親に医療費を払う余裕がないため、人生を痛みながら送っています。勤勉に働いている雇用者が、上司がライバルの嘘を信じたために解雇されています。鉱山のオーナーが、安全管理を無視してその費用を削ったため、死ぬ鉱夫がいます。

私たちは希望を持つことができます。しかしこの地球上で、権力のある人々に正義を期待することはできません。この世界では、富む者と権力者はさらに富を、そしてさらに権力をと競争し、人々の上にひどい要求をつきつけてきます。貧しく弱い者が待っていても、富む者と権力者たちが分け合ったあとには、もう何も残されていないことがあるのです。

私たちはこのような世界を変えることができるのでしょうか？ 私たちは地域社会で正義を行なうため、自分たちの影響力を発揮することが出来ます。私たちは、もっと思いやりのある社会をつくることを望む人たちに合流することができます。そして、悪のかわりに、信仰の神様が、その時がくれば正義を運んでくださるということをごこの世の中で確信することができるのです。

聖歌 309

祈り 親愛なる主よ。私たちが虐げられる時、あなたの約束を信じる勇気を与えてください。私たちが力ある地位についた時には、正義とあわれみの両方を行なえるような知恵を与えてください。あなたの御子を私たちの手本としてくださったことに感謝します。

イエス様のすばらしい御名において。アーメン。

キャロライン・ハンター  
カリフォルニア州 マリブ